

和歌山県立紀伊風土記の丘 令和4年度秋期特別展

紀^き大^{だい}氏^{うじ}、 地^ちを^を開^{ひら}く

宮井用水と耕地開発

2022 10.1sat » 12.4sun



紀伊国造印（個人蔵）



名草溝の原形とされる音浦遺跡の古墳時代大溝（和歌山県教育委員会提供）

【開館時間】 9:00~16:30(入館は16:00まで) 【休館日】 毎週月曜日(ただし10月10日(月)は開館)、10月11日(火)

【特別展示期間入館料】 一般360円(290円)、大学生220円(160円) ()内は20名以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上、障害者及び県内在住の留学生の方は無料(証明書の提示が必要)

背景：名草郡用水絵図「中筋家文書」(和歌山市立博物館蔵)

和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋 1411 電話 073-471-6123
ホームページ <https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>

國造次第

日前國懸太神宮天降坐、時天道報
為從臣仕始即嚴奉崇之仍賜國造
任奉
今貞觀十六年以甲
十歲依奉書已檢改
寫書

國造正六位上廣世直

比古麻 天道根男

久志多麻 鬼刀林男
又者目菅

子還比古 大名草比古男

夜都賀志彦 舟本男

豐布流 等与美と男
初賜大直

祢賀志富 益龍男

國見 忍弟

祢賀志富 益龍男

豐布流 等与美と男

子還比古 大名草比古男

久志多麻 鬼刀林男

比古麻 天道根男

國造正六位上廣世直

為從臣仕始即嚴奉崇之仍賜國造

任奉

今貞觀十六年以甲

十歲依奉書已檢改

寫書

日前國懸太神宮天降坐、時天道報

紀伊國造次第（個人蔵）

特別展シンポジウム①

「紀伊國造が築いた岩橋千塚古墳群と宮井用水」

令和4年10月16日 13:30~16:30

- 講演「紀伊國造と大和王権」寺西貞弘氏（和歌山地方史研究会参与）
- 報告「紀伊國造と岩橋千塚古墳群」丹野 拓氏（和歌山県教育庁）
- 報告「古代の用水路とその管理集団」富加見泰彦氏（元県立紀伊風土記の丘）

特別展シンポジウム②

「古代・中世における和歌山平野の開発」

令和4年10月23日 13:30~16:30

- 講演「和歌山平野の地形と土地開発」額田雅裕氏（元和歌山市立博物館館長）
- 報告「紀の川下流域における荘園の成立と展開一水をめぐる問題から」坂本亮太氏（和歌山県立博物館）
- 報告「大治2年塩入荒野の開発と中世宮井用水」田中元浩（当館）

特別展シンポジウム③

「太田城水攻めと宮井用水」

令和4年11月6日 13:30~16:30

- 講演「天正13年太田城水攻めの実像」新谷和之氏（近畿大学准教授）
- 報告「発掘調査成果から考える太田城と太田城水攻め」大木 要氏（和歌山市）
- 報告「太田城水攻め堤と宮井用水」藤藪勝則氏（(公財)和歌山市埋蔵文化財センター）

特別展シンポジウム④

「ここまでわかった古代の土木技術」

令和4年11月20日 13:30~16:30

- 講演「古代治水灌漑の土木技術」小山田宏一氏（大阪府立狭山池博物館館長）
- 報告「古市大溝の評価をめぐって」河内一浩氏（日本考古学協会会員）
- 報告「宮井用水の起源と歴史」田中元浩（当館）

会場	和歌山県立紀伊風土記の丘 ピロティ
定員	60名（先着順）
電話申込	受付開始は各回の2週間前の金曜日 13時~

学芸員による展示解説

令和4年10月15日、11月23日 13時

時間	13:30~14:30	参加費	無料（要入館料）
申込方法	電話または資料館での事前申込（先着順） 受付開始は各回の2週間前の金曜日 13時~		

背景：名草溝の原形とされる鳴神IV遺跡の古墳時代大溝（和歌山県教育委員会提供）

紀氏は岩橋千塚古墳群を築き、『日本書紀』、『古事記』に朝鮮半島で活躍したことが記される古代豪族です。古墳時代以降には紀國造家として国を治め、律令期には名草郡の郡司を兼ねます。一方で、紀伊国一宮として祭祀の中心的な役割を占め、日前・国懸神宮を奉斎してきました。そして中世には和歌山平野一円を神領として支配し、羽柴秀吉の紀州攻めを経て、その系譜は現代にもつながります。

紀氏は「宮井用水」という灌漑水路によって、古墳時代から中世にかけて耕地開発を行い、勢力基盤としての穀倉地帯を和歌山平野に築きました。総延長28kmにも及ぶ大規模灌漑水路である宮井用水は、現在も和歌山平野を潤しており、紀氏とその礎を築いたといえます。また、宮井用水は、古墳時代以降にその延伸や取水口の変化が度々あり、それに伴って流域の耕地開発が行われました。

今回の展示では考古資料と文献史料の展示を通じて、古墳時代から中世、そして現代まで続く紀氏と宮井用水について探ります。そして、近畿各地の発掘調査成果とともに、耕地開発の進展について紹介したいと思います。



城島遺跡出土鋤・鍬（桜井市教育委員会蔵）



纏向遺跡大溝出土矢板（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵）



宮井用水 水門ハンドル（紀の川左岸土地改良区蔵）



車駕之古址古墳出土金製勾玉（和歌山県教育委員会蔵）
【和歌山県指定文化財】



交通

- JR和歌山駅東口・和歌山バス「紀伊風土記の丘」行き 約20分 終点下車 バス発車時刻 平日/7:50 9:00 10:00 11:50 13:35 14:35 15:35 土・日・祝日/9:00 10:00 11:50 13:35 14:35 15:35
- 阪和自動車道・和歌山インターから車で約5分
- ※発車時刻は時刻表改定などにより変更になる場合がございます。

和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋1411
 [TEL] 073-471-6123
 [FAX] 073-471-6120
 [ホームページ] www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp
 [Eメール] kofun@kiifudoki.wakayama-c.ed.jp
 [公式ツイッター] https://twitter.com/kiifudokinooka



紀伊風土記の丘HP

